

神於山 観察の眼

愛彩ランド～意賀美神社

2020年 11月 6日

4班 吉川 時子



ミノムシ メスは一生涯の中



トキワススキとダンチク
(イネ科)



コウヤボウキ (キク科)



カナムグラ (アサ科) 雌株
重なり合った苞の間に雌花



果期に苞が紫褐色



カマツカ (バラ科)



ヤブムラサキ (シソ科)



イシミカワ (タデ科)

円形の托葉が茎を包み花被は緑白色から青藍色へ変化



カラスウリ (ウリ科) 実が熟すまでの変化

カラスウリクキフクレフシ



ヤナギイチゴ (イラクサ科) 葉脈の網目が目立ち葉裏は白い



フクラスズメ
イラクサ科を食草
頭部を反らせて威嚇行動



ハナミョウガ (ショウガ科) 葉の両面にピロード状の毛



フイチゴ (バラ科)



タマズキ (モチノキ科) 小さな実をたわわにつける



葉柄は長く赤い



ソーラス

ヘラシダ (イワデンダ科)



コ克蘭 (ラン科)



茎



アキノキリンソウ (キク科)
別名 アワダチソウ



カギカズラ (アカネ科)



花と実

ノダケ (セリ科) 暗紫色の花が特徴



マルバウツギ (アジサイ科)

花の基部の左右の葉は葉柄がなく茎を抱く



オニグルミ (クルミ科)



フエノハナワラビ
(ハナヤスリ科)



カナメモチ (バラ科)



ヨシノアザミ (キク科)



ゴンズイ (ミツバウツギ科)



セイタカアワダチソウとクサギに
覆われている山頂展望台前斜面



竹藪の中頑張るクスノキ



ナナミノキ (モチノキ科) 雄株
台風で倒れても元気



岩湧山・槇尾山・三国山（河内・紀伊・和泉の国）
ビューポイント



カエデドコロ
（ヤマノイモ科）



タイミンタチバナ（サクラソウ科）葉は枝先に密生



一面に実をつける



テイカカズラ
（キョウチクトウ科）



ミミズバイ（ハイノキ科）葉裏は白くて葉脈が緑色に見える



実はミミズの頭に例えられる



イズセンリョウ（サクラソウ科）



ヒサカキ
（サカキ科）



タラヨウ（モチノキ科）
実は直径8mmで密集してつく